

厚生科学研究研究費補助金

生活安全総合研究事業

生活安全総合研究の企画及び評価に関する研究

平成12年度 総括研究報告書

主任研究者 首藤 紘一

平成13(2001)年4月

目 次

I. 総括研究報告書

生活安全総合研究の企画及び評価に関する研究 _____ 1

首 藤 紘 一

III. 研究成果の刊行に関する一覧表 _____ 3

厚生科学研究費補助金（生活安全総合研究事業）
総括研究報告書

生活安全総合研究の企画及び評価に関する研究

主任研究者 首 藤 紘 一（国立医薬品食品衛生研究所長）

研究要旨 生活安全総合研究事業は一般公募により課題を募集して実施する研究事業として平成10年度より開始した事業である。研究課題の採択においては、公平かつ適切な専門家による評価が必須である。本研究は、主任研究者を中心として、生活安全総合研究の各分野の専門家を研究協力者とし研究計画書に基づく書面審査（1次評価）を実施し、生活安全総合研究事前評価委員会において採択を公平かつ円滑に行うための資料作成を行うものであるが、本年度においては、書面評価（1次評価）を実施する為の事前準備の事業を行った。

A. 研究目的：廃棄物処理などの過程で発生するダイオキシン類等は、多様な毒性を有するとともに、難分解性物質として知られており、ダイオキシン類の及ぼす健康影響について対策が急がれている。このほか内分泌かく乱物質の健康影響、化学物質過敏症などについてはこれまでほとんど知見の集積がなく、従来とは異なる新たな視点から問題も提起されるようになってきている。このため生活安全総合研究においてはダイオキシン類を始め微量化学物質等に起因する様々な影響に対し食品、化学物質、廃棄物及び飲料水等の分野の研究者が相互に連携を保つとともに、化学物質対策等の生活安全に係る研究を実施する関係各省庁と密接に連携を図りつつ、様々な研究を総合的に実施し、的確な対策を講ずるための研究を行い、国民の安全な生活の確保についての社会的要請等に応えるため、国際的な動きも視野に入れた総合的かつ計画的な研究を推進することを目的としているものである。したがって、限られた研究資源を有効に活用し、生活安全総合研究を推進するためには、適切な研究課題に対して研究費を適正に配分することが求められる。本研究は、申請者の提出する研究計画書に基づいて研究課題の内容を書面審査することにより、生活安全総合研究の推進に大いに寄与できるものと考えられる。

B. 研究方法：1年目：「生活安全総合研究の事前評価の実施方法に関する指針」に基づき、平成10年度生活安全総合研究の6分野について、それぞれ専門家3名以上を研究協力者として各応募課題につき研究計画書による書面審査を行う。また、行政的評価については、各分野の専門的行政官の協力を得、同様に書面審査を行う。応募課題1につき、専門的・学術的観点からの評価及び行政的観点からの評価にはそれぞれ複数の評価者による審査を行う。

2年目：平成11年度生活安全総合研究の各分野について、1年目と同様に評価を行う。

3年目：平成12年度生活安全総合研究の各分野について、2年目と同様に評価を行う。

（倫理面への配慮）

研究計画書及びヒアリング又はサイドビジットにおいて得られた個人情報については厳重に管理する。

また、評価結果については事前評価委員会での評価資料としてのみ利用することとする。

したがって、倫理面について問題ないとする。

C. 研究結果：(1)平成10年度：①平成10年6月初旬から7月において、平成10年度の申請課題168課題の研究計画書について、専門家30名と行政官20名からなる評価小委員会を設け、専門的・学術的観点及び行政的観点から書面評価を実施し、専門家点順位、行政官順位及び総合的順位をつけ評価結果を事前評価委員会に提出した。②平成11年2月中旬から3月にかけて平成11年度の申請課題103課題についても、前回同様に専門家24名と行政官10名からなる評価小委員会を設け、書面評価を実施し、専門家点順位、行政官順位及び総合的順位をつけ評価結果を事前評価委員会に提出した。

(2)平成11年度：平成12年度3月下旬にかけて、平成12年度の申請課題46課題の研究計画書について、専門家20名と行政官10名からなる評価小委員会を設け、専門的・学術的観点及び行政的観点から書面評価を実施し、専門家点順位、行政官順位及び総合的順位をつけ、評価結果を事前評価委員会に提出した。

(3)平成12年度：平成13年4月上旬にかけて、平成13年度の申請課題の研究計画書について、評価小委員会を設け、専門的・学術的観点及び行政的観点から書面評価を実施し、専門家点順位、行政官順位及び総合的順位をつけ、事前評価委員会に評価結果を提出する予定でいる。

D. 考察 -

E. 結論 -

F. 健康危険情報 -

G. 研究発表 -

1. 論文発表 -

2. 学会発表 ー
(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

H. 知的財産権の出願・登録状況 ー

1. 特許取得 ー
2. 実用新案登録 ー
3. その他 ー

別添 6

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出 版 社 名	出 版 地	出 版 年	ペー ジ
該当なし							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
該当なし					